

響く歓声、パワー全開の運動会



THE FIRST SPORTS DAY

～一世代の真剣勝負～

吾婦二中 ニュースレター

A to Z

墨田区立吾婦第二中学校

令和5年6月1日

校長 駒田 るみ子

行事から学ぶ 行事で学ぶ

校長 駒田 るみ子

5月は生徒総会に始まり、各種健康診断、開校記念日、離任式、教育実習と盛りだくさんの月でした。中でも1学年の野外体験活動（18～19日、山中湖周辺）と運動会（27日）は本校にとって大きな取組でした。4年ぶりとなる全学年での運動会は、墨田区教育委員会をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様に、多数御来校いただきました。御声援を頂戴し、ありがとうございました。

さて、御紹介したい話があります。

「昔々あるところに、隣り合う二つの村がありました。仮に東の村、西の村と呼びます。どちらの村も田畑を耕し人々は農業を営んでいました。しかしどちらも日照りに悩まされることが多かったそうです。そこでどちらの村にも雨乞いをする人がいました。東の村の雨乞いは必ず雨を降らせることができると評判で、村人みんなから感謝されていました。西の村の雨乞いは、雨を降らせることができないと言ってなじられたり、追放されたりしていました。東の村では人々がにこにこ感謝して過ごし、幸せそうな笑い声が響きました。西の村では人々が口々に不満を訴え、いがみあっていました。」

二つの村は隣り合っているのだから、降雨量や状況は同じと判断してよいでしょう。それでも東の村の雨乞いの方だけ必ず雨を降らせることができるのはなぜでしょう。皆さん分かりますか。

「それは、東の雨乞いは雨が降るまで雨乞いをするから」なのです。この答えはなんだかずるいなあと感じた人もいるかもしれませんが、しかし、この寓話は、私たちの生活の中で活かされる話です。何をどこまで取り組み、努力するのかという点です。「できるまでやる」という心意気一つになると大きな力を発揮します。逆に「なぜできないの」と短期の成果を求めるのではなく、粘り強くあきらめずに頑張るところから成果が生み出され、幸福な気持ちで、さらに多くのことに取り組んでいくことができます。

行事を終えて「最後まであきらめずにやり遂げる」ことの大切さをかみしめたことでしょうか。運動会の中では、そんな中学生の姿をたくさん見ることができ大変嬉しかったです。今年度は、学校行事の充実を図り行事を通して多くの学びを実現したいと考えていますのでご期待ください。

1年野外体験活動

山中湖方面へ一泊で出かけました。足和田山ハイキングの途中、五湖台から、みごとな富士山の優美な姿が臨めました。東京からはこんな裾野の広がりが見られないので、よい体験になりました。翌日は、青木ヶ原樹海の散策、氷穴、風穴等をめぐり、最後に“ほうとう”に舌鼓を打ち、帰途につきました。中学校生活最初の、仲間作りの宿泊行事は、生徒の頑張りや成長が見られ、充実したものになりました。



教育実習が終了 5月は音楽の実習がありました。生徒にとって職業を考えるという点でも、有意義な期間となりました。右:写真→



AWARD-WINNING

○女子バスケットボール部 第76回墨田区民体育大会 第3位

ベスト・プレーヤー賞 齋藤 心優（3年）



☆野外体験活動（1年生）

吾嬭二中のホームページです。ご活用ください。↑



5月18日（木）～19日（金）の2日間、野外体験活動で山中湖に行きました。自然豊かな環境に感動し、多くのことを学んだ2日間になりました。

☆運動会

5月27日（土）に、運動会を開催しました。全校生徒が集まったの開催は4年ぶりになります。御参観いただいた御来賓の方や保護者の皆様には、最後まであたたかい拍手や励ましの言葉をかけていただき、生徒たちはさらに自信を深めることができたと思います。ありがとうございました。



☆募金活動

5月23日（火）～27日（土）の期間、生徒会役員とボランティア防災部が、募金活動を行いました。多くの方々に御協力をいただき、募金活動をした生徒たち全員がやりがいのある活動になりました。御協力ありがとうございました。

